京都市西京区役所洛西支所戸籍住民担当窓口業務委託　候補者選定基準

配点及び評価ポイント
1　方針及び業務実績等について（配点30点）
基本方針や、契約期間の各段階の構想及び取組方針が適切かつ明確に示されている。
経営状況等から業務を安定的に遂行できることが見込まれる。
事業者として、類似業務の実績が豊富で、ノウハウの蓄積がある。
2　体制の確保について（配点70点）
法や制度に精通した従事者を含めた業務従事者の確保が見込まれる。
業務量が具体的に検討され、合理的な業務の分担や各分担における従事者数の目安が示されている。
一時的に業務の遅れが生じた際の応援体制や人員の補充等が具体的に示されている。
適切な指揮命令や情報伝達を行う仕組みが示されている。
研修や人材育成の方策が示されている。
離職や休職時における、代替要員の確保、従事者間の業務引継ぎの方策が示されている。
従事者の福利厚生、ワークライフバランスが考慮されている。
その他、独自の提案や創意工夫がなされている。
3　戸籍住民担当業務について（配点120点）
準備期間について、円滑な業務開始に向けて、計画的かつ効果的な準備行為のビジョンが示されている。
準備期間中の現場での本市職員からの説明及び引継ぎにおいて、委託開始までに各業務従事者が漏れなく必要な業務の習得・習熟を可能とすることができる工夫について、具体的な方策が示されている。
委託業務について、適切なマニュアル（業務手順書・業務フロー）の作成・運用や修正、見直し方法や時期が示されている。
本市職員との適切な情報共有や業務の引継方法が示されている。
戸籍住民担当での受付業務において、来庁者に不要な待ち時間を発生させることなく、速やか、かつ正確な受付ができるようにするための工夫について具体的な方策が示されている。
委託業者から本市職員への速やか、かつ正確な回付を行うための工夫について、具体的な方策が示されている。
受付・入力後、本市職員の審査や交付・不交付決定において申請書や本人確認書類の不備等により来庁者に手戻りを生じさせることがないようにするための工夫について、具体的な方策が示されている。
事務処理誤りを起こさないための工夫について、具体的な方策が示されている。
想定し得るリスク及びトラブルへの対応方針が具体的な想定事例とともに明確に示されている。
繁忙時に事務を円滑かつ遺漏なく行うための具体的な方策が示されている。
次期事業者等への引継方法が的確かつ具体的に示されている。
その他、独自の提案や創意工夫がなされている。

4　個人情報保護について（配点40点）	
	個人情報保護に対する会社の方針、管理方法や取扱方法が明確である。
	個人情報管理責任者を中心とした内部統制や内部監査といった組織的な対策が構築されている。
	個人情報保護のための研修や守秘義務の確保に向けた取組等が充実している。
	過去に発生した情報漏えい事案に対する分析が行われるなど、情報事故発生時の対応策が明確に示されている。
	その他、独自の提案や創意工夫がなされている。
5　見積書等（配点20点）	
	見積書の総額について（最低提示価格／貴社提示価格）×20点（小数点以下切り捨て）
6　その他（配点20点）	
	本業務従事者の雇用に当たって、京都市内居住者の就労機会を新たに創出する取組について示されている。
	京都市内に本店又は主たる事務所を有する中小企業（中小企業基本法第２条第１項各号のいずれかに該当するものをいう。）であるか。（コンソーシアムの企業が該当する場合を含む。）※　本項目による評価を希望する場合は、中小企業基本法第２条第１項各号のいずれかに該当することが確認できる資料を提出するとともに、その旨を申し出ること。

（A：極めて優れている　B：優れている　C：妥当　D：やや不十分　E：不十分）

合計300点

最低選定基準点は、180点とし、当該基準を上回った者の中から選定する。